

## 令和7年度 成果活用アンケート結果報告

### 1 はじめに

令和7年度、県立生涯学習推進センターでは、社会教育関係職員等研修会、地域学校協働活動研修会、家庭教育研修会、デジタル・リテラシー研修会の4つの研修会を実施した。受講者全員に次のようなアンケートを依頼し以下の回答を得た。

(1) アンケート名： 成果活用アンケート

(2) 目的： 受講者が研修会で学んだことをどのように、職場や地域、家庭、日常生活等で活用しているかを把握するため

(3) 実施対象： 受講者 665 人  
社会教育関係職員等研修会・・・140人  
地域学校協働活動研修会・・・138人  
家庭教育研修会・・・212人  
デジタル・リテラシー研修会・・・175人

(4) 実施時期： 令和7年12月初旬～令和8年1月初旬

(5) 内容： ① 研修会の学びやこれまでの経験の地域社会で活用しているか  
② 参加者の所属  
③ 活用場面（複数回答可）  
④ 活用していない理由（複数回答可）  
⑤ 活用するためにセンターからどんなサポートを望むか  
⑥ どんな研修や講座があればよいか

### 2 アンケート結果の分析方法

各研修会について以下のようにまとめた。

(1) アンケート結果

(2) 成果

(3) 課題

(4) 次年度に向けて

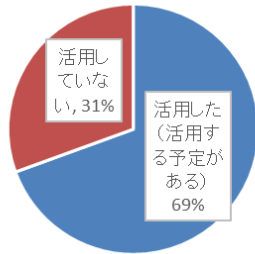
7ページ以降に各研修会について寄せられた自由記述を掲載した。

- ・活用場面（複数回答可）
- ・活用していない理由（複数回答可）
- ・活用するためにセンターからどんなサポートを望むか
- ・今後どんな研修や講座があればよいか

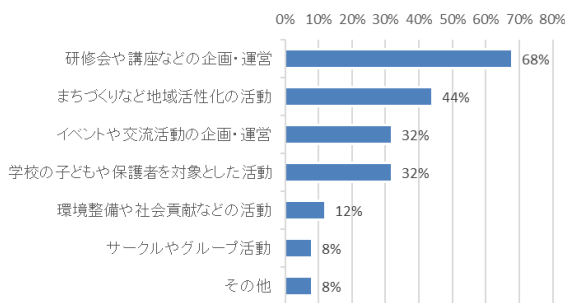
### 3 社会教育関係職員等研修会

#### (1) アンケート結果（回答率 40%）

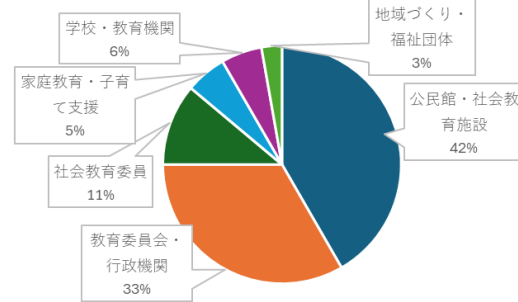
研修会の学びやこれまでの経験を  
地域社会で活用していますか  
(活用している予定を含みます)



活動場面(複数回答可)



参加者の所属



活用していない理由(複数回答可)

やり方・方法などが分からない	4
すでに計画や方針が決まっていた	4
時間がとれない	3
人手が足りない	2
予算がない	2

#### (2) 成果

- ・研修会で学んだことを「活用した」と回答した割合が69%であった。
- ・受講者は公民館・社会教育施設が40%以上、教育委員会・行政機関が30%以上を占めている。活用場面では「研修会・講座などの企画・運営」で68%と最も多く、「まちづくりなど地域活性化の活動」が44%であった。このことから、受講者は、本研修会の学びを実務に活用し、地域の課題解決や活性化に貢献したと考えられる。

#### (3) 課題

- ・「計画がうまく立てられない」「新しいことを始めるのは難しい」といった声から、研修内容を実践につなげる準備や調整等に不安を抱いている受講者も少なくないと言える。
- ・「地域団体と社会教育施設がつながりをもった事例を紹介してほしい」「人間関係を築いていないと難しい」との声から、人的ネットワークの拡大や関係機関との連携・協働が一層求められている。
- ・今後の研修会に望むテーマとして「子どもの居場所づくり」「共生社会」「多様性」等が挙げられていることから、複雑化・高度化する地域課題にも対応していく必要がある。

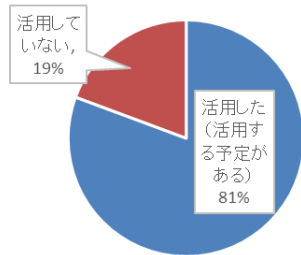
#### (4) 次年度に向けて

- ・研修内容を活用する場面や手順を具体化・明確化するために、学習プログラムを立案したり、アクションプランを作成したりする演習を行う。
- ・コーディネーターとして地域の多様な主体をつなぐ役割が期待される「社会教育士」「社会教育主事(有資格者)」対象の研修会を行う。
- ・「障がい者の生涯学習」や「若者を巻き込んだ地域づくり」といった今日的な地域課題に焦点を当てた研修会を行う。

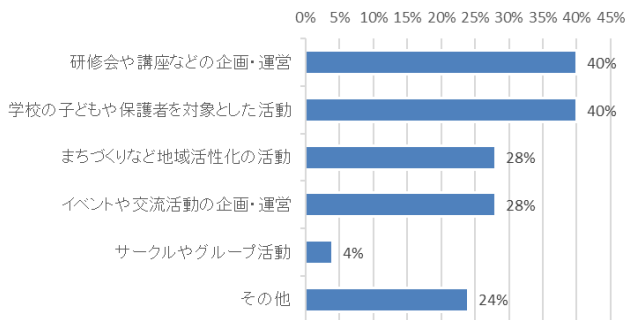
## 4 地域学校協働活動研修会

### (1) アンケート結果（回答率 53%）

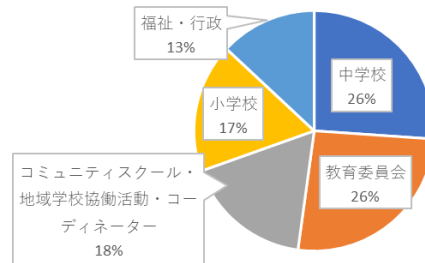
研修会の学びやこれまでの経験を  
地域社会で活用していますか  
（活用している予定を含みます）



活動場面（複数回答可）



### 参加者の所属



### 活用していない理由（複数回答可）

活用していない理由	回数
やり方・方法などが分からない	3
時間がとれない	2
人手が足りない	2
予算がない	2
すでに計画や方針が決まっていた	2

### (2) 成果

- ・研修会で学んだことを「活用した」と回答した割合が81%であった。
- ・活用した活動内容は、「研修会や講座などの企画・運営」「学校の子どもや保護者を対象とした活動」「まちづくりなど地域活性化の活動」「イベントや交流活動の企画・運営」など、多岐にわたった。地域活動の幅広い理解と実践の共有ができ、それぞれの地域で意欲的に実践されたと考えられる。
- ・「事例を交えて具体的に説明していただき理解が深まった」「他地域の協働活動が参考になった」「新しい視点をいただいた」「地域学校協働活動を発展させていくために有効な技法と感じた」などの感想から地域全体で子どもたちを育てる意識が高まったと考えられる。

### (3) 課題

- ・活用できなかった理由として、「やり方・方法などが分からない」「時間がとれない」「人手が足りない」「予算がない」などが挙げられた。
- ・「もう少し地域学校協働活動に近い内容だとよかった」「推進員として大変だったことや課題、展望がもっと聞きたかった」「情報交換の時間がもっとあるとよかった」など、参加者のニーズに差があった。

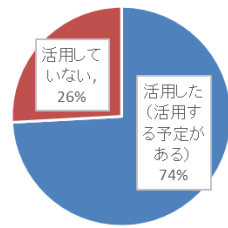
### (4) 次年度に向けて

- ・理解の深まりとつながりがもてるように、市町村の活動事例を紹介したり参加者同士の情報交換の場を設定したりする。
- ・学びや経験をより地域社会で活用できるよう、系統をもたせた内容の連続した講座にする。
- ・より参加しやすく交流がもてるように、市町村にサテライト会場の設置を推奨し、必要に応じて支援する。

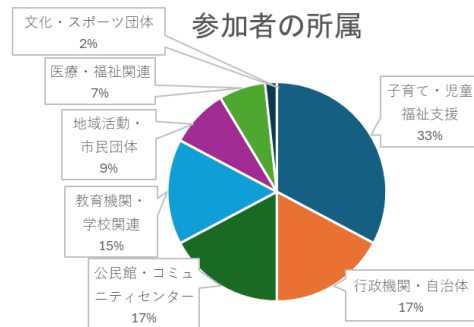
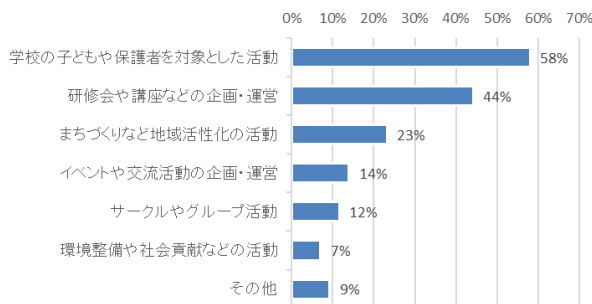
## 5 家庭教育研修会

### (1) アンケート結果（回答率 69%）

研修会の学びやこれまでの経験を地域社会で活用していますか（活用している予定を含みます）



活動場面（複数回答可）



活用していない理由（複数回答可）

住民のニーズがない	3
やり方・方法などが分からない	3
すでに計画や方針が決まっていた	3
時間がとれない	2
人手が足りない	2
予算がない	2

### (2) 成果

- ・研修会で学んだことを「活用した」と回答した割合が74%であった。
- ・受講者は子育て・児童福祉支援が33%、行政機関・自治会が17%、公民館・コミュニティセンターが17%、教育機関・学校関連が15%であり、地域の子どもと家庭を支える多様な関係者から参加があり、家庭教育へのニーズの高まりが見られた。
- ・「学校の子どもや保護者を対象とした活動」が58%、「研修会や講座などの企画・運営」が44%であり、大半を占めた。このことから、本研修が、受講者の実務に直結する内容で、地域における家庭教育支援につながったと考えられる。

### (3) 課題

- ・「自分で実践する自信がまだない」「活用できるだけの準備ができていない」といった声から、研修内容を地域で活用することに対して不安を抱いている受講者も少なくないと言える。
- ・「具体例を多く聞きたい」「具体的な事例は参考になる」といった声から、多様化・複雑化する家庭への実践的な支援方法が求められている。
- ・今後の研修会に望むテーマとして「保護者の悩みに沿った講座の運営」「男性が参加する講座」等が挙げられていることから、多様な保護者を対象とした家庭教育講座の立案について学ぶ必要がある。

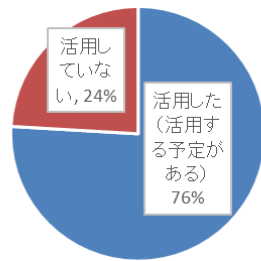
### (4) 次年度に向けて

- ・地域での活動場면을想定したロールプレイを行い、研修内容の定着とさらなる活用を図る。
- ・地域における効果的な取組事例を学び、子どもや保護者に対する支援スキルを高めていく。
- ・「妊産婦」「父親」「思春期の子どもをもつ保護者」など、子どもの発達段階等に応じた様々な家庭教育講座の学習プログラムを立案する演習を行う。

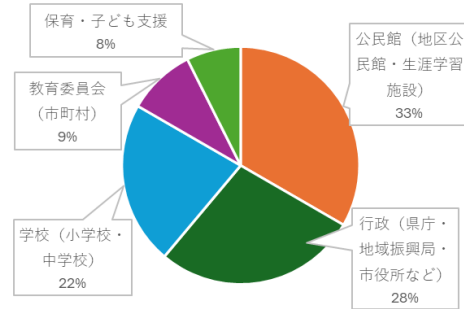
## 6 デジタル・リテラシー研修会

### (1) アンケート結果（回答 81%）

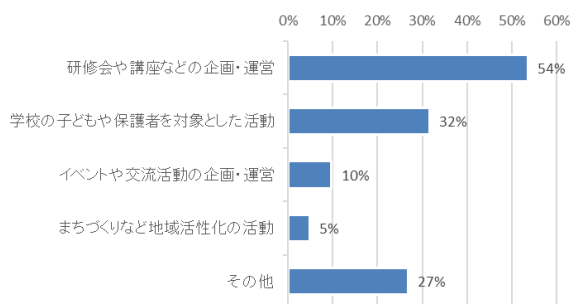
研修会の学びやこれまでの経験を  
地域社会で活用していますか  
（活用している予定を含みます）



### 参加者の所属



### 活動場面（複数回答可）



### 活用していない理由（複数回答可）

住民のニーズがない	8
すでに計画や方針が決まっていた	3
施設や設備がない	1
やり方・方法などが分からない	1
時間がとれない	1

### (2) 成果

- ・研修内容の実践度は高く、受講者の76%が「活用した」と回答しており、学びが実際の業務や活動に十分に生かされていることが分かる。
- ・受講者の内訳は、地区公民館・生涯学習施設が33%、県行政・市町村行政が28%、学校関係が22%と、多様な分野から幅広い参加があり、横断的な研修となった。
- ・主な活動場面は「研修会や講座などの企画・運営」が41%、「学校の子どもや保護者を対象とした活動」が24%であり、受講者の具体的な実務に直結した成果が確認できる。
- ・事前に受講者への聞き取りを実施したことで、要望やニーズを的確に把握し、それに応じた内容の研修を行うことができ、満足度と実効性の高い研修となった。

### (3) 課題

- ・研修内容を活用していない理由として、「住民のニーズがない」「地域住民が高齢化のため活用できない。」という回答があり、地域ごとの実情や対象者の特性に応じた内容となっていない可能性がある。そのため、市町村ごとの人口構成や関心分野、ICT環境などを踏まえ、より実態に即した研修内容へと見直していく。
- ・「リモートする機会がない」「時間がとれなかった」といった声から、研修内容だけでなく実施時期や方法にも課題があることが分かる。今後は、業務の繁忙期を避けた日程設定や、短時間・分割型の研修、対面とオンラインの柔軟な組み合わせなどを検討し、ニーズと時期を的確に捉えた立案・運営を行っていく。

(4) 次年度に向けて

- ・ICT 研修会については、高い成果が見られた一方で、「住民のニーズがない」「地域住民が高齢化のため活用できない。」といった課題も明らかとなった。これを踏まえ、次年度は県内各市町村の ICT 環境や住民の特性、業務実態を丁寧に把握し、より現場に即した実践的な研修内容へと充実させていく。また、住民サービスや教育、地域活動など幅広い分野での活用を一層促進する。
- ・出張 ICT 研修会については、今年度の成果として、受講者の多様な分野への広がりや実務への活用が確認できたことから、次年度はデジタルデバイド解消を一層推進するため、より多くの市町村へ積極的に向いて実施する。特に、「リモートする機会がない」「時間がとれなかった」といった声から、遠隔地や研修機会が限られている地域を優先し、機会格差の縮小を図る。研修内容については、事前の聞き取りや担当者との打合せを通してニーズを的確に把握し、それぞれの地域課題に応じた柔軟な内容で実施する。
- ・デジタル・シティズンシップ研修会については、受講者数の確保に課題が見られた。次年度は、こうした課題を踏まえ、受講しやすい時期として7月・8月・11月に実施時期を見直すとともに、対象や内容の周知方法を工夫し、受講者の拡大を図る。また、学校や地域における具体的な活用場面を示すことで、受講の必要性や効果をより分かりやすく伝え、参加意欲の向上につなげていく。

担当 鈴木 昭俊

# 社会教育関係職員等研修会 記述

## 活用場面（複数回答可）

- ・ 公民館講座の企画・運営、子育てサロンの企画・運営、ボランティアスタッフとの企画会議
- ・ 交流会や講座の企画・運営において、目的、趣旨、ゴールをしっかり決めて進めることができた。
- ・ 高齢者対象の事業への活用
- ・ 講座の企画・運営
- ・ 特別支援学級とボランティアや大学生と共に交流を行う連携事業
- ・ 若者向けの講座の企画の際に参考に活用。
- ・ 社会教育委員会の研修会
- ・ 講座の企画・運営や、社会教育の推進に活用しています
- ・ 地域活動活性化支援事業の企画と学生への支援
- ・ 学校や公民館
- ・ 会議や打ち合わせ、活動において自分の基本的な考え方に加えたい。
- ・ 海岸清掃活動
- ・ 学校や地域団体との協働により、公民館をこどもの居場所としてさらに活用できるよう取り組みたい。
- ・ 今一番活躍したのは ICT 研修会に習った生成 AI の活用でした。自分の事業などのチラシ作りなどがとても助かったです。
- ・ 来年度の事業企画の参考にします。
- ・ 講座の企画立案
- ・ 未定だが障がいのある人の支援ができるような企画を考えて進めていきたい。
- ・ 自分の活動の範囲内で企画するにあたって考え方の一つとすることで発想の道筋をたどりやすくなりました。
- ・ 学校（高等学校）と地域の連携の強化に向けた活動の検討
- ・ 当事者団体として、自分たちの活動を知ってもらおう（茶話会や研修会を広く周知してもらおう）と同時に、誰もが暮らしやすい地域への一助となれるよう、自分たちの立場でできる活動をやっている。
- ・ 具体的に「こう活用した」とは言えないが、さまざまな活動をする上での素地になっていると思う。
- ・ 公民館主催事業
- ・ 公民館講座（家庭教育）を企画するうえで取り入れたい視点を学べた（学びと地域の関わり）
- ・ コミ協との地域活性化事業に活かしたい。また、地域の居場所でも多世代交流をはかりたい。
- ・ 公民館事業

## 活用していない理由（複数回答可）

- ・ 実際の事業担当ではないため
- ・ 新しいことを始めるのはやり方もわからず難しい。
- ・ 今の所、自己の活動が忙しくて考えて行く時間の余裕がない。
- ・ 活用できそうな機会が直近では無くて、実践できていませんでした。
- ・ 新規の企画は人間関係を築いていないと難しい

- ・自分の事業と直接関係はないけど保護者とのやりくりなどでは活用した
- ・ファシリテーションの基本スキルについて学んだが今のところ活用する機会がない。
- ・今年度はあまり研修会自体に参加できず、結果活かせることも少なかったです。

昨年10月に、入社しました。まだ知識不足や事業の計画がうまく立てれないのが現状です。しかし、研修会を受けることが、未経験の私にとって、勉強になり、今後、業務に生かせるようにやっていきたいと思います。

- ・事業を持たないため活用はしていませんが、今後の方向性のための参考にさせていただきます。
- ・年度当初に年間の事業計画が組まれており、学びを活用する余地がないため。
- ・現在、活用できる業務を行っていない。

## 活用するためにセンターからどんなサポートを望むか

- ・成功事例の共有
- ・国の施策を市の現状に落とし込めておらず、方向性を示せていない。文科省の方向性や事例を知りたい。また、相談にのってもらえるとありがたい。
- ・成功事例、失敗事例を複数紹介いただくと参考になる。
- ・これからの社会教育の展望などこれまでの状況を踏まえて今後どのような方向に進むことが望まれるかの情報提供
- ・今回のような他市町村等との交流の機会はとても良かったです
- ・オンライン研修の機会
- ・研修の場に参加した方々との交流ができる場を設けてほしい。
- ・活用して、実行する場合には、詳細を教えて欲しいし、場所の優遇措置も考えていただきたい。
- ・今のところは不要。学んだことをもとに活動して不具合があれば学び修正していく。
- ・これまでどおりこの研修を継続してほしい。
- ・現場で使えるものがある助かります。
- ・現場に応じて活用方法は様々な形がある中で、現状にマッチした活用方法のアドバイスをいただきたい。
- ・すでに活躍している方と関係の構築
- ・同じ活動をしたいと考えている方々が繋がるような仕掛けづくり
- ・研修会でつながった方との橋渡し。研修会を経て実際に何か動き出した方のイベントや実施概要の案内。
- ・様々な地域や世代の講習を受けることが、ヒントになり仕事に生かせたらと思います。引き続き、様々なテーマの企画をお願いします。
- ・障害のある人が心が動く活動の場や学びの場などを会場としても持ちたいとは考えているが、なかなか難しい(自分たちにも力もないし、そもそも多くの保護者の意識が、本人を保護の対象と感している)。なので前回の『障害者の生涯学習』のようなものが様々な分野で広がることような支援をお願いしたい。
- ・社会教育における学習機会が地域活動や市民活動に繋がっていく具体例を多く紹介してほしい。
- ・指導者情報の提供
- ・小さな地域だけでなく、中央区など地域の人が入れ替わったり、広範囲に及ぶ場合の地域づくりのヒントや成功例を知りたいです。
- ・他の地区公民館での取り組み紹介など

## 今後どのような研修や講座があればよいか

- ・公民館の役割、地域の多世代共生交流の活動について、高齢者の生きがいづくり、居場所のつくりかた。
- ・国の方向性や、具体的な取り組みを知れるような研修。また、参加者同士で情報交換や交流できるような機会があるとよいです。
- ・多様性や学校との連携に関する講座
- ・県の社会教育委員会の目指す ウェルビーイング に関わる研修
- ・全国的なトレンドや他市町村等の好事例の紹介
- ・オンライン研修で学びを深める方法を学びたい。AI の活用方法
- ・実際に動ける、社会教育の実現に向けての講座。知識で頭でっかちになるより、身近な所で活かせる社会教育の実現に向けて。
- ・今回の講師の話は非常にレベルが高くてよかった。知見がある方で聞いて学びになった。このような方の地域活動・公民館活動に関係する講座をぜひまたお願いしたい。
- ・コミュニティ協議会などの地域団体と社会教育施設がつながりを持った事例を紹介してほしい。
- ・これから AI はとても進めると思います。それに合わせて進めたいです。
- ・牧野先生のお話は毎回楽しみにしています。機会があればまた受講させていただきたいです。
- ・実践ですぐに活用できるような講座があると良い
- ・講座の組み立て方や施設の維持管理の方法、予算の管理方法、コミュニケーション技術（効果的な伝え方）など、実践的なスキルの向上。
- ・今回のこのような研修会がまたあればぜひ参加したいです
- ・ファシリテーター養成講座
- ・私が青少年に関わっていますので、中学校の合併により部活動をしない子達の居場所作りについて。青少年を支える側である地域や住民ができること。などの研修会をしてみたいです。
- ・生涯学習(誰にとっても)の大切さなど学べるようなもの
- ・「大きなエリアでの社会教育」と「小さなエリアでの社会教育」の違いや共通点を十分に意識した内容を学びたい。
- ・中学生の部活廃止に伴い子どもの居場所問題。社会教育関係職員や地域に求められること
- ・こども対象事業実施時の危機管理（アレルギー対策、事故防止）、多動傾向のある児童への配慮等
- ・AI の活用事例について
- ・公民館の意見交換会

# 地域学校協働活動研修会 記述

## 活用場面（複数回答可）

- ・地域伝統行事への参加
- ・学校の環境整備して活動などを地域から参加を広げていく。
- ・コミュニティと学校をめぐる環境の変化を理解するときにその判断の材料にしたり、またそのトレンドをつかむために利用しています。
- ・総合的な学習の時間等で活用の予定
- ・部会や子ども会の活動にアドバイスしている。
- ・NPO 法人の活動
- ・行政側の支援として、地域学校協働活動推進員の研修会の場合や協議の際に参考としている
- ・地域学校協働活動を推進する当市の研修会で、貴研修会の内容や実践内容を紹介
- ・CS 会議の熟議と、総合的な学習の時間における生徒による地域活性化のためのイベントの企画
- ・3 学年総合的な学習と山北まちづくり協議会連携事業
- ・学校再編後の学校運営
- ・学校運営協議会の研修の場で
- ・学校の子ども達が地域の人との手紙交流を通して、地域の方が学校、子ども達との繋がりを深めたり関心を深めたりする、さらに学校に足を運びやすくする活動
- ・海岸清掃活動
- ・家庭教育振興事業
- ・学校運営協議会で、子ども達が考えた「まちおこしイベント」企画書を見ていただく。そして、受け入れが可能な地域を募集し、実現に向けて動き出す。
- ・教頭会での情報提供
- ・社協が毎年行っていた福祉フェスと子どもたちの架け橋役として、推進員として学校の見守り活動の募集と実施、小学校のクラブ活動のボランティア募集、保護者と地域向けの講演会の開催など
- ・ふるさと遠足 など
- ・学校運営協議会の研修の場で
- ・学校運営協議会での協議や活動
- ・ボランティアと連携した子どもたちが関わり合いながら楽しむ場の企画運営
- ・学区での児童生徒対象のイベント
- ・地域学校協働本部の立ち上げに関わる事務、会議、研修等

## 活用していない理由（複数回答可）

- ・話し合いの場が少ない
- ・今年度からの職場であったので、今までの動きをこなすことでいっぱいだったため。
- ・新規の企画は売れ入れられづらい
- ・組織から関わって新たな活動を作りだして行くには余裕がありません。

## 活用するためにセンターからどんなサポートを望むか

- ・実践を複数あげてほしい。
- ・いままでの研修でつまらなかったり、無益だと思ったことはありません。必ず刺激を受ける内容だったと思います。
- ・研修会での学びの多様な活用例を教えてください。
- ・フォローアップの研修会の開催
- ・研修内容について、理論的なものよりも、実践的な取組紹介や地域学校協働活動を推進していく上での困難克服などを含めたプロセス紹介などをご提供いただけるとたいへんありがたいです。
- ・視察などもいいかもです。
- ・熟議の場にファシリテーターとして入ってもらえたらありがたい。
- ・今年度同様に引き続き、地域学校協働活動研修会を定期的に開催し、関係する方と交流できる研修を企画・運営いただきたい。
- ・地域連携のお悩み相談、事例を元にアドバイスしていただけるとありがたい
- ・生涯学習センターがどのようなサポートができるのか具体的に紹介してほしい。
- ・地域づくり協議会の皆さんが地域学校協働活動をより理解して、関心をもってもらえるような働きかけ。
- ・学校運営協議会に来ていただき、熟議のファシリテートをしていただけると助かります。1回、プロに仕切っていただきたい！
- ・1 コミュニティスクールと地域学校協働活動がまちづくりや地方創生につながる取り組みであるということを知ってもらうためのリーフレットなどがあると助かります。2 小さな町では教育委員会の手もいっぱい？なのか、全く取り組みに前向きではありません。県から進め方の指導やどうしているか調査なども含めて指導の強化をとにかくお願いしたいです。
- ・今年度から各教育事務所の社会教育課が廃止され、県生涯学習推進課と県立生涯学習推進センターしか、これらを学ぶ場が無く危機感を感じている。
- ・研修会の講師をお願いします
- ・他地域の事例
- ・講師等の紹介
- ・資料提供、情報提供

## 今後どのような研修や講座があればよいか

- ・他県などの実践も知りたい。
- ・今まで通り、グループワークのようなアウトプットの時間を多くとってもらいたいと思います。
- ・地域と学校、家庭を結びつけ、多世代が結束できる取組の例を教えてください。
- ・いろいろとお力添えいただきありがとうございました。引き続き、市では招聘できない方々による研修会の開催をお願いいたします。
- ・子供の少ない地域での活動
- ・地域連携に関する研修をぜひ続けてほしい。
- ・先進地域の取組の研修その後のワークショップ型の研修
- ・学校と地域がどのような段階を踏んでつながりをもてるようにしたらよいかわからないので、運営方法

を知ることができる情報交換の場がほしいです。

- ・新しく活動を立ち上げる時の計画、段取りの具体例など
- ・インターネットとこどもに関する課題と現状
- ・文科省が、設置を努力義務としているコミュニティスクールの推進をサポートするための研修をしてほしい。
- ・学校側も負担を感じることなく、地域連携を前向きに進めていく風土づくりや意識の向上を職員に促すための研修
- ・地域学校協働本部に関わる研修

# 家庭教育研修会 記述

## 活用場面（複数回答可）

- ・ 就学時検診(講座) 自主講座
- ・ イベントや講座の企画・運営において、目的、趣旨、ゴールをしっかりと設定し進めることができた。
- ・ 公民館講座の企画・運営、子育てサロンの企画・運営
- ・ 部会や子ども会の活動にアドバイスしている。
- ・ NPO 法人の活動
- ・ 民生委員の方達に、主任児童委員としての活動内容を伝えた。
- ・ デジタル使用機器の扱いについて、保健指導に取り入れていく予定です。
- ・ 高等学校に在籍する生徒の保護者を対象とした、障害者雇用と障害福祉サービスの説明会
- ・ 子育てひろばでのイベント企画や子どもの見守りをするときに頭の隅に置いて活動しています。
- ・ 次年度以降の家庭教育のテーマとして検討中
- ・ 日々、対応する事案に対して使う
- ・ コミュニティー協議会役員で、親子に関するイベントなど企画運営しています。今後その活動に講習で学んだこと活かして、より親や子供のちょっとした力になれるイベントや活動したいとおもいます。
- ・ コミュニティー協議会役員をていて、親子対象のイベントなど企画運営をしたりしているので、
- ・ 放課後子ども教室の企画運営、地域親睦交流などの企画運営
- ・ 小学校での入学前健診
- ・ 民生委員の方達に、主任児童委員としての活動内容を伝えた。
- ・ 小学校入学前説明会、親子参加イベント
- ・ 地域の子どもの関わり
- ・ 日々の広場事業。フリー開放、季節の行事など
- ・ 子育て広場に来てくれた方に
- ・ 各種団体等の活動（研修）のテーマ決めなど、計画段階での活用
- ・ 家庭教育事業
- ・ 家庭教育に関する講座の開催
- ・ 学校内にてPTAによるおしゃべり会で学校、保護者、地域をつないだ
- ・ 保護者の方の相談に、現代の家庭の課題など学んだことを活用しました。また親子サークルの活動支援にも活かすことができました。また、地域づくりの視点は行政の仕事でとても大切なポイントなので、参考になりました。
- ・ 最新の子育て家庭の問題を把握し相談員の資質を高める
- ・ 子育て支援の一環として親子で遊びにきて他の方々と交流したり、イベントなどにも参加していただくばど園開放をしています。
- ・ 子育て支援に関わる活動・ボランティア
- ・ 就学前健診の間の保護者の待ち時間に講座を行った。研修で学んだ、子育てのあり方は多様であることを念頭におきながら、講座を進められた。
- ・ すまいる桜援団としては、声をかけてもらった家庭教育講座のスタッフとして関わらせてもらっている。

- ・別団体(NPO 法人ふぁみりり)にて産前産後ヘルパーに登録させてもらっている。依頼があった時の育児支援・家事支援など有償ボランティアという形でやっている
- ・小学校ボランティアや地域の育成会のボランティア活動
- ・主宰している子育てサロンにてランチ会の開催
- ・就学時検診(講座) 自主講座
- ・講座を企画する際に受講者側のメリットについて考えるようになった
- ・公民館講座(家庭教育)を企画するうえで取り入れたい視点を学べた(良い方向に行くための意見をどんどん出す、それぞれに合った支援)
- ・まだ実施ないが、これからの企画につなげていきたい。
- ・高等学校に在籍する生徒の保護者を対象とした、障害者雇用と障害福祉サービスの説明会
- ・生徒、保護者対応。職員への伝達、紹介。
- ・特別支援学級、特別支援学校の保護者、教員向けの講座で、情報提供をしました。
- ・入学前の保護者向け講座
- ・修学前健診での子育てセミナーで家庭教育講座をした

## 活用していない理由(複数回答可)

- ・自分で実践する自信がまだない。
- ・保護者として参加させてもらったので、これからどんな形で活かせるか検討していきます。
- ・活用する場がない
- ・活用の場がないし、まだ活用できるだけの準備ができていない。
- ・研修会で学んだことを共有できる場がなかなかなかった
- ・来年度以降に活かしていこうと思う。
- ・業務において直接子どもや保護者と接する機会が少ないため。
- ・活用する場がない
- ・活用する場面がないし、時間的な余裕がない。
- ・今後こども課の仕事に役立てるようにしていきたい。
- ・まだ現時点で、計画・運営・活動等の計画がないのですが、勉強や準備のため受講させていただいております。
- ・日々の生活に追われ、新たにやる感じがでない。

## 活用するためにセンターからどんなサポートを望むか

- ・自主講座にてアンケートを実施しますが、為になるがやってみようという意見が少なく悩みに答えられていない気がする。もっと今どきの事例を聞いてみたい。
- ・研修会での学びの多様な活用例を教えてほしい。
- ・フォローアップの研修会の開催
- ・zoomで参加しやすく、素晴らしいサポートでした。
- ・実際に実践している所を見てみたい。
- ・県教委からの基本的な研修だけでは、現代の学校教育現場は難しいと考えており、自ら受ける、多種多様な児童生徒に対してどのようなかわり方が必要なのか、考えながら自主性をもった教職員がもっと増え

ていってほしいなど、養護教諭の立場で感じております。是非今後とも様々な分野において研修機会を設けていただき、私自身ももっと学習をさせていただければと思います。

- ・講師の紹介(詳細な)
- ・他の地域での、いろんな方々の子どもや保護者への活動が知れると嬉しい
- ・別の地域で活動されてる方との交流。活動内容やアドバイスもお聞きしたい。
- ・活動の失敗や成功経験を閲覧できるサイトがあると良い
- ・家庭教育について、学校からの要望と保護者からの要望を知りたいので、資料があれば嬉しいです。
- ・アイスブレイキング法
- ・身近なところでの活動の情報を知れるのも良いと思いました。
- ・発展的な講座開催
- ・行政職員は人事異動により頻繁に担当が変わることから、気軽に相談できる窓口があれば結構です。
- ・企画運営や講師についての助言
- ・これまでどおりこの研修を継続してほしい。
- ・もうそろそろ研修会だけに参加するのではなく活動に移す、行動を起こす周知なく
- ・多くの情報発信をお願いしたいと思います。また行政の場合、限られた部署のみに案内がいきがちなので、こういうところにも通知を渡してほしいという部分を明確にいただけると、もっと多くの人にセンターの活動が知れ渡ると思いました。
- ・具体的な実践活動の報告などをお聞きしたりして支援のためのヒントやアイデアなどいただくとありがたいです。
- ・今年度のように学ぶ機会の提供をいただけますと幸いです。
- ・学校や地域などの受け入れる側の方にも、こういった取り組みがあることを周知してもらって、もっと活動しやすいようにしてほしい。
- ・複雑な社会課題を、分かりやすく教えてもらえる研修など実施してもらえたら有り難いです。  
つながりづくりや国や県・地域での課題を漠然ではなく詳細に学び、それぞれ対応するには何ができるか考えられる機会。
- ・予算の提供
- ・自主講座にてアンケートを実施しますが、為になるがやってみようという意見が少なく悩みに答えられていない気がする。もっと今どきの事例を聞いてみたい。
- ・家庭の状況や教育環境は日々変化していくので、時事的な内容で課題と提案を教えてくださいらと思います。
- ・多職種の方々との交流。
- ・すでに担当の方から、多くの助言や支援を頂いています。気軽に聞きたいことを聞ける体制があるので助かっています。
- ・様々な事例をもとに、担当者の困り感の解消に繋げてほしい
- ・他の部署と繋がれて良かったです。
- ・他の団体とつないでいただいたり、講座についてアドレスいただいたりサポートしていただいています。

## 今後どのような研修や講座があればよいか

- ・保護者の現状や実際の悩みに沿った講座運営。保護者の立場から学び今に至るので、専門的な心理学等の研修を受けていないので、基本的なスキルが学べるとよい。「あなたのように出来ないという」、経験か

らまだまだ学びたいと思います。有難うございます。

- ・色々な問題を抱えた保護者とうまく関わる方法を知りたい。
- ・コーチング等
- ・今年度の研修会のような、計画から実践に向けての研修会は学びがありました。実施するスキルが身につくと思います。今後もよろしく願いいたします。
- ・今年度は養護教諭の立場においても参加しやすい講義内容で大変ありがたかったです。複雑・多様化しているご時世なので、心理的ケアの内容や発達支援関係の内容等引き続きお願いをしたいと思います。
- ・困っている子供への寄り添い方や保護者への寄り添い方などの講座
- ・同じ内容でも繰り返し受講する事で学びが深まると思います。新たな内容も良いと思いますが、同じ内容での研修も良いと思います。
- ・少子高齢が進む中での地域活動の展望
- ・他県における家庭教育への取り組みを知る講座。
- ・コーチング 他団体との交流
- ・事例紹介
- ・障がいのあるお子さんを持つ保護者サポート
- ・新任向け研修や講座
- ・男性が参加する家庭教育講座運営のやり方、成功例などの情報があると参考になります。
- ・コミュニティ協議会などの地域団体と家庭教育がつながりを持った事例を紹介してほしい。
- ・zoom の良さもあるが、実践練習
- ・他市町村の家庭教育支援の事例や現状について
- ・社会の変化に伴い家族形態も多様化・複雑化しています。妊娠期から成人に至るまで、まわりのフォローがなければ十分な子育てができない環境も多いです。様々な年代における現状と課題を取り上げていただき支援のために何ができるかを考えていける機会があったら嬉しいです。
- ・子育て支援・家庭教育支援の現状・課題・実践例。
- ・具体的な事例は参考になる。また今の課題になっていることは毎年変わると思うので、現状を知る機会にもなるといい。
- ・思いつきません
- ・研修で学んだことをしてやってだけでなく、また終了後のアンケート評価だけでなく、より活用できるよう学びなおし修正が楽しくなる研修
- ・基本となる知識や行政の部分よりも、実際に運営している方の生の声や事例など、具体例を多く聞きたい
- ・保護者の現状や実際の悩みに沿った講座運営。保護者の立場から学び今に至るので、専門的な心理学等の研修を受けていないので、基本的なスキルが学べるとよい。「あなたのようにには出来ないという」、経験からまだまだ学びたいと思います。有難うございます。
- ・これからの子供に求められることや問題点の改善
- ・上記のような研修や講座を今年度同様に開催してほしいです。
- ・多職種の方との話し合いでは、異なる視点から物事を見ることができ、とても勉強になります。
- ・講義の良いのですが、横のつながりを作るためにグループワークの時間が多い講座を希望します。
- ・様々なテーマでもっと聞きたいこともあるので、講師を交えたグループ設定もありがたいです。
- ・似たような活動をしているグループで集まって、グループワークができると良い
- ・想像以上に良かったです。
- ・新潟清陵大学 准教授の関谷先生から家庭教育についてご講義いただきたい。

# デジタル・リテラシー研修会 記述

## 活用場面（複数回答可）

- ・生徒への SNS 指導
- ・職員への情報共有
- ・朝の時間や給食指導中に、文科省の動画教材を使ってメディアに関する指導をしました。
- ・教職員との情報共有をするとともに子どもや保護者への啓発を図りたい。
- ・授業
- ・SNS の適切な利用のしかたを含めた ICT 機器（学習用タブレット）の使い方
- ・以前から計画していたものですが大久保真紀先生をお招きして、インターネットリテラシー講演会を実施しました。
- ・勤務校の生徒への指導や P T A 講演会、コミュニティ協議会と連携した地域への周知
- ・授業や研修会
- ・学校の授業実践に取り入れた
- ・Zoom による研修会の開催
- ・関係者へ発出する文章の校正
- ・職場
- ・業務用の資料作成
- ・資料作成で活用
- ・会議議事録要約・作成、資料作成
- ・会議における会議録の作成
- ・地域コミュニティの行事（ふるさと塾）でのポスター作製等
- ・部内研修の参考にした
- ・リモート会議の運営、参加などで活用
- ・公民館合同オンライン講座の実施
- ・広報チラシの作成など
- ・オンライン講座を開催予定
- ・講座の企画、立案
- ・活用予定ですが、研修会のチラシ作りに生かしたいし、チラシ作成の作業効率を上げたい。
- ・文章を考える際、考えを整理する際に活用
- ・Zoom 会議開催が無かったため、Zoom に関しては活用していません。Gemini など AI 使用した画像作成などをイベントのチラシ作成に活用しました。
- ・AI を使って旅行計画の作成、案内状、礼状の作成、等に活用
- ・保育士等を対象とした研修会を開催する場面、小中学校の児童生徒を対象とした職業講話において Zoom での実施を希望された場合
- ・AI を利用してチラシを作成した
- ・幼児教育関係者を対象とした研修会開催、小・中学校の児童生徒を対象とした職業講話等において Zoom での実施を希望された場合に活用したいと考えています。
- ・生成 AI を使い、やさしい日本語でのあいさつ文や公民館の成り立ちを小学生向けに要約するほか、ガン

トチャートの作成など多岐にわたり活用している。

- ・ 端末の定例情報交換会や転入職員向けの研修会で利用する予定であります。
- ・ チラシの文言やイラストを AI で作成
- ・ デジタルシチズンシップ研修の開催
- ・ 普段の業務の中での調べ物や、文書作成、チェック
- ・ 言葉の使い方などチラシ作成時の参考にした。

## 活用していない理由（複数回答可）

- ・ 時間がとれなかった
- ・ 個人的に活用している
- ・ 地域社会での活用はしていないが、業務上で活用しています。
- ・ 個人的に活用している
- ・ ZOOM を使う機会がないため
- ・ 今年度は計画や方針等が決まっていた為、活用しなかった。
- ・ 今年度は活用する機会がなかった
- ・ 地域住民が高齢化のため活用できないので、する機会がない。
- ・ 地域全体が高齢化のため、デジタルを使っての会議などできない
- ・ 高齢者が多い地区なのでデジタルが進んでいない
- ・ 高齢者が多く、研修した Zoom や AI についてはニーズがない。
- ・ 役員の高齢化のため
- ・ zoom で会議を考えましたが、一部に使用をしぶる声があり断念しました
- ・ リモートする機会がない。
- ・ 新潟市の運用ルールで使えない AI だった。

## 活用するためにセンターからどんなサポートを望むか

- ・ SNS 等の実体験を語るができる人とのパネルディスカッションなどの企画
- ・ 校内研修を兼ねることができるなどの PR
- ・ 今後もデジタル・リテラシーはさらに必要となるので、より身近に活用ができるコンテンツがあると学びやすいと思う。
- ・ SNS を日常的に使う現役世代（第 2 回講座で登場された大学生のような）と、小中学生が質疑応答できる機会または人材データベースの紹介
- ・ どのように実践しているか、具体的な取組やアイデアを情報交換する。
- ・ 年に 1 度このような研修を聞けると自分自身をアップデートできて大変良い機会と思います。
- ・ 研修会の充実 生涯学習推進のセンター機能として市町村や研修会参加者をつなげるパイプ役
- ・ 研修会の案内
- ・ 研修会の Zoom 運営サポート
- ・ 便利な新しい技術を使うための入門編をしてほしい
- ・ もっと簡単に質問などを聞けるようになればよい。
- ・ 生成 AI の基本

- ・実際に活用して効果があった事例の積み上げと全体共有をお願いします。
- ・今回の「デジタル・リテラシー研修」では、基本的な内容から実際の運用まで、具体的に学ぶことができました。今後も、活用に関わるサポートをいただくと、学びたい職員としては助かります。
- ・オンライン事業等の運営指導・補助
- ・公民館利用者の年齢にあったサポート
- ・また、AIを活用したチラシ作成方法などの研修会を受講したい。
- ・不慣れなうちは、環境（設備）などの確認を、サポートしてもらえるとありがたいです。
- ・他地区の取り組みや、最新の動向など、情報をたくさんいただきたいです。
- ・ハイブリッドで研修会を行う場合、サポートして欲しい。
- ・デジタルツールの活用法
- ・学びを通じた地域づくりのための人材バンクの情報提供
- ・キャンバをぜひ有料バージョンとして活用したい。ぜひ、県のセンターで費用をサポートしてもらいたい。
- ・Zoomの設定で困ったときに役立つマニュアルの共有（研修資料からの抜粋など）、電話対応による簡易的なトラブルシューティングサポート
- ・現時点では、市で業務委託している業者と連携しながら対応できそうなのですが、今後、研修会開催で活用する場合、Zoomの具体的な操作方法について分からない点があった時にサポートしていただくと助かります。
- ・限られた人数での研修になるため、新潟市内でも出張サポートによる研修を実施していただくとよい。
- ・オンラインでグループごとに意見交換する際には、センターの熟知した職員の方がコーディネートしてくれないと、烏合の衆の意見交換止まりとなって、情報交換が深まっていけないので、参考にしたい気持ちが醸成されにくくなります。
- ・特にICTの活用については研修できる場をたくさん提供して頂けるとありがたいです。
- ・今回受けた研修のような、AIなど最近の便利な技術活用の仕方を教えてもらえる講座
- ・どんどん進んでいくデジタル環境へ対応できていないので、そういったものに対してのフォロー

## 今後どのような研修や講座があればよいか

- ・今年度同様な講師陣とオンラインでの参加をお願いします
- ・インターネットリテラシー
- ・今は思いつきません
- ・年間計画や実践計画をシミュレーション的につくってみる研修。それを叩き台にして、自校に持ち帰って続きをつくると、新しいことにも挑戦しやすくなるのでは、ないかと思う。
- ・今まで同様、アップデートされた大久保さんの講演会を聞きたいです。
- ・国や県、市町村が課題としている内容（県（推進課）としてしっかり方針を立て、それに向けて市町村が取り組むべき内容を明確にしないと研修内容をしぼることができません。現在、生涯学習推進センターで行っている研修内容は先見性のあるすばらしい内容だと思います。応援しています。）
- ・引き続き実践的な研修会や講座
- ・Teamsでの会議機能について
- ・新しい技術が出てきた時の紹介をしてほしい
- ・職員向け広報誌による初心者を知っていると便利な手法を知ってもらえるような情報の提供（例えば、プロンプトを入力する時に「Shift」+「Enter」で改行できる等）

- ・生成 AI を活用した企画書などの資料作成
- ・是非、AI 研修の第 2 弾をお願いしたいです
- ・生成 AI の基本
- ・できることとできないことがあるが、現時点で「工夫すればできること」の工夫の部分を詳しくお聞かせください。
- ・職場への出張研修や、オンライン研修も実施いただけると幸いです。
- ・ChatGPT や Box の活用方法など
- ・生成 AI の活用（初級からの）
- ・今回、急遽 ChatGPT など AI 関係の講習をしていただきました。資料作りなどに役立ち、大変よかったです。
- ・AI を活用した資料作成など定期的に研修を受講できたら嬉しく思います。
- ・今年受講できなかったチラシ作成講座
- ・出張 ICT 研修会がとても良かったので、また開催していただきたいです。
- ・研修会後のアンケートにありました。「スマホや動画、SNS の影響」「AI の力はどの様になるか。」
- ・高齢者向けデジタルツールについてなど
- ・今までとは違う住民から利用してもらうための新たな役割や講座作りについての研修があれば良いと思います。
- ・ハラスメント対策。特にカスタマーハラスメントについて。
- ・ハラスメント対処法
- ・ファシリテーターの研修
- ・講座や施設の PR 用の動画作成講座など
- ・特に新しい要望はありません。
- ・グラフィックレコーディング講座
- ・ICT のよき使い手を育てる研修を今後も開催してください（これまでのような禁止や制限を強化する方式は、指導の限界が生まれてきているので）
- ・デジタルモラルやシチズンシップ研修
- ・今回受けた研修のような、AI など最近の便利な技術活用の仕方を教えてもらえる講座